

## 特別講演 2

# 「COVID-19 の診断と治療」

福井大学医学部感染症学講座 教授

酒巻 一平 先生

新型コロナウイルス、SARS-CoV-2 による新型コロナウイルス感染症、COVID-19 の世界的な流行が始まってから 2 年以上が経過した。流行に伴い COVID-19 の早期診断が強く求められていたが、当初、利用できる検査は PCR 検査のみであった。その後、抗原定性検査であるイムノクロマト法や測定機器を用いた抗原定量検査である化学発光酵素免疫測定法が開発され、広く使用されるようになった。これら検査を状況によって使い分ける必要がある。

徐々に病態も解明され、発症からの期間や重症度によって必要な治療もわかってきた。検査法の普及により早期診断が可能となり、それに伴い早期治療開始もできるようになっている。早期から使用可能な抗体薬や内服薬も開発され、初期と比較して重症化率や死亡率は大きく減少している。

本講演では、これまでの約 2 年間を振り返り、検査および治療に関して概説したい。